

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
121122041	ファッション造形学 Clothing Construction	鈴木 路乃	✓		2	選択	2後期

科目の概要

人々の日常生活を衣・食・住および地域活性の面から支援することができるようになるための科目として位置づけられる (DP4)。この科目では、平面構成 (和服) と立体構成 (洋服) の違いを軸に、衣服造形の基礎を学修する。人体の構造、可動域、成長変化、既製服のサイズ規格、衣服の造形要素 (色彩・素材・シルエット等) を理論的に理解し、造形を言語化する力を身につける。担当講師はパタンナーとしての実務経験があり、この授業では衣服の構成法について幅広く説明する。

学修内容	到達目標
① 人体の形状についての特徴や年齢差、男女差、動作による変化を知る。 ② 衣服構成法の種類、洋服パターン作成の理論について知る。 ③ 和服の構成法、洋服との違いを知る。 ④ ファッション造形の要素について知る。 ⑤ アイテム別のハンガーイラスト作成方法を知る。	① 体型の特徴について年齢差・男女差・動作による変化を知り、説明することができる。 ② 平面構成法、立体構成法およびパターン作成の理論について説明することができる。 ③ 和服の特徴、洋服との違いを知り正確に説明することができる。 ④ ファッション造形の要素を知り、活用しながら服のデザインを考えることができる。 ⑤ 基本的なアイテムのハンガーイラストを描くことができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	課題を理解するのに必要な知識について、配布プリントを読み、文献等を調べて、自分で学修ができる。
	働きかけ力	
	実行力	必要な学修の内容や方法を自分で考えて、目標のレベルまで到達できる。
考え抜く力	課題発見力	プリントや文献等を読み、情報を整理して衣服に関する課題を発見することができる。
	計画力	
	創造力	衣服の形についてさまざまな面から考え、自分なりの答えを導き出すことができる。
チームで働く力	発信力	話すポイントが整理され、聞き手に伝わりやすい発表をすることができる。
	傾聴力	発言者の意見を正確に理解し、自分の考えをまとめることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：『ビジュアル衣生活論』、岡田宣子他、建帛社 (2010)

プリント：適宜配布、google classroomにて資料提示

参考資料：『きもの文化の伝承と発信のための教育プログラム』 <http://kimono-bunka.ynu.ac.jp/yukatatoha.html>

他科目との関連、資格との関連

「ファッション造形学」は、空間・情報デザイン科目群の衣分野の科目の一部であり、「衣生活論」「ファッション造形実習Ⅰ」「アパレル科学」で獲得した知識・技術を活用する。また、その後に履修する「ファッション造形実習Ⅱ」「ファッショントレンド」の基盤となる科目である。

資格との関連：教職 中一種 (家庭)、教職 高一種 (家庭)

学修上の助言	受講生とのルール
日頃からファッションに興味を持ち、毎日自分の着る衣服の構成要素 (色、素材、パーツ数、シルエット、その服を選んだ理由等) を考察してみる。	授業で配布するプリントは余分に印刷しません。無くさないように管理すること。 欠席しても自己学修し、PCRシートを必ず提出すること。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
			②			
			③			
			④			
			⑤			
	平常評価	小テスト	0	①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
		レポート	40	①	✓	毎週のPCRシートと課題が提出されており、衣生活の中の問題点を自分なりに捉えられているかを評価する。
				②	✓	知識の獲得（50%） ・計画的に取り組めたか（実行力） ・課題に対する調査を積極的に行い、自己学習ができるか（主体性）
				③	✓	知識の活用（50%） ・調査結果から、自分なりの考えをまとめた内容であるか（主体性）
				④	✓	
				⑤		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	50	①	✓	ミニ着物、シルエット・コンポジション・配色マップ（発表）、ハンガーイラストが提出されており、課題の要点に沿った内容か、分かりやすい発表かを評価する。		
		②	✓	知識の解決（100%） ・計画的に取り組めたか（実行力） ・テーマと企画の内容に矛盾がないか（課題発見力） ・オリジナリティや説得力があるか（創造力） ・効果的な発表方法だったか（発信力） ・発表者、発言者には丁寧に耳を傾け、さらに自分の意見を述べることができるか（傾聴力）		
		③	✓			
		④	✓			
		⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（規律性）・受講態度（遅刻、欠席、私語、居眠り、携帯を触るなど）は減点する （主体性）・出席、授業中の興味関心、意欲を評価する。 （実行力）・目標まで到達しようという努力の姿勢を期限内の課題提出で評価する。	
			②	✓		
			③	✓	（課題発見力）・衣服に関する課題を発見できているか、PCRシートで確認する （創造力）・自分なりの方法を考え、実行しているか、PCRシートで確認する。 （発信力）・プレゼンテーションで内容を確認する。 （傾聴力）・授業態度やプレゼンテーションの聴講態度などで確認する。	
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>A（優）の目安：人体の形状の特徴と年齢差、男女差、洋服のパターン作成の理論について十分に理解している。和服と洋服の構成法の差や和服の特徴を説明できる。子供や高齢者など年齢や体の状態に合わせた衣服の条件についても正確に把握しており、配慮された衣服デザインの提案ができる。</p> <p>※上記に対し極めて高い評価が与えられると判断された場合、S（秀）とする。</p>	<p>B（良）の目安：人体の形状の特徴と年齢差、男女差、洋服のパターン作成の理論について理解している。和服と洋服の構成法の差や和服の特徴が分かる。子供や高齢者など年齢や体の状態に合わせた衣服の条件について知識があり、衣服デザインの提案ができる。</p> <p>C（可）の目安：人体の形状の特徴と年齢差、男女差、洋服のパターン作成の理論についておおそ理解している。和服と洋服の構成法の差や和服の特徴、子供や高齢者など年齢や体の状態に合わせた衣服の条件についての知識が足りず、衣服デザインの目的が少し外れている。課題の提出が遅れている。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	衣服の形の分類と構成法 平面的概念と立体的概念について知る	講義	世界の衣服のかたちの変遷がわかる	(予習) シラバスを読み、内容を把握しておく (復習) 日本の和服について自分の考えをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
2	平面構成法・和服の特徴① 立体構成法との違い、和服の名称、着用法、収納法を学ぶ	講義 google classroomによる課題の提出	平面構成と立体構成の差を説明できる	(予習) 自宅にある和服について調べ、成人式の服装についての考えをまとめる (復習) 和服がサステナブルだと言われる理由についてまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
3	1/10サイズでミニ着物をつくる	講義 演習：1/10サイズの着物作り 「きもの文化の伝承と発信のための教育プログラム」 http://kimono-bunka.ynu.ac.jp/yukatatoha.html 課題のフィードバック	正確にミニ着物を完成させ、和服の構造が理解できる	(予習) 和服のリサイクルと加工技法について調べる (復習) 1/10着物を完成し、構造について考察する	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
4	着衣する人体骨格、関節などで構成される人体の構造を知る	講義 課題のフィードバック	人体の骨格の構造が分かる	(予習) 自分の体系特徴について衣服と関連する内容でまとめる (復習) 体幹骨と体肢骨の違いについてまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
5	筋の動き 筋肉で構成される人体の構造を知る 可動域計測の方法について知る	講義 グループ演習：可動域の計測 課題のフィードバック	可動域の正しい計測を行うことができる 衣服に必要なゆとりを理解することができる	(予習) テキスト第6章「動きやすさと衣服」をよく読み、動作時の人体と衣服の変形について理解する (復習) 人体構造、計測方法、計測値のまとめをする	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
6	人体計測 計測点と計測基準線について知る 9ARボディを用いて正しい計測の練習を行う	講義 グループ演習：人体計測 課題のフィードバック	計測点と計測基準線の名称と場所が分かる 正しい位置で計測を行うことができる	(予習) アパレルの設計において、動作と体型変化を把握する必要性についてまとめる (復習) 計測点と計測基準線の短縮名称と身頃原型についてまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
7	体型情報の活用 性差と年齢による変化に着目して、体形の変化について考える 男女、成長期、中年年齢期、高年齢期の体型変化、姿勢の変化を知る	講義 課題のフィードバック	男女の体型、年齢、動作による体型変化について分かる	(予習) 体型特徴について、骨格診断をする (復習) 体型変異の3つの要因について理解する	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
8	既製衣料の表示 体型計測値の活用をする 既製服のサイズ表記について学ぶ	講義 課題のフィードバック	計測値の活用目的と、既製服のサイズ表記について分かる	(予習) 自宅にある衣服の品質表示を調べる (復習) 既製衣料表示の小テスト	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	ファッションの造形要素① アパレルの形態、シルエットについて学ぶ	講義 演習：PCを利用し画像収集、シルエットマップの作製 課題のフィードバック	シルエット別の特徴が理解できる	(予習) 年代別に流行したシルエットについて調べる (復習) シルエットマップを完成させる	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
10	ファッションの造形要素② 服装のディテールについて学ぶ デザイン(立体)とパターン(平面図)を理解する	講義 課題のフィードバック	デザインとパターンが結びつく	(予習) アパレルのアイテム名、ディテールデザイン名を調べ、まとめる (復習) デザインとパターンの小テスト	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
11	ファッションの造形要素③ 形態のコンポジションについて学ぶ	講義 演習：PCを利用し画像収集、コンポジションマップの作製 課題のフィードバック	4種類のコンポジションについて特徴を説明できる	(予習) テキスト第11章「装いのコミュニケーション」をよく読み、衣服の個性と着用者の個性について理解する (復習) コンポジションマップを完成させる	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
12	ファッションの造形要素④ 造形要素と色のイメージの関係について学ぶ 来年の流行色の発表	講義 演習：PCを利用し画像収集、配色マップの作製 課題のフィードバック google classroomにて課題を表示 「カラーイメージスケール」(株式会社日本カラーデザイン研究所) https://www.artiencegroup.com/ja/column/chromatics/basic/004.html	色が与える印象について理解できる	(予習) 流行色について調べる (復習) 配色マップを完成させる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
13	作品発表 シルエット・コンポジション・配色マップの発表 傾聴する学生は評価コメントをつける	プレゼンテーション 作品発表と評価を行う	学びが活かされた作品作りができ、分かりやすい発表ができる	(予習) プレゼンテーションの準備 (復習) 発表者へのコメント	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	ハンガーイラスト デザイン画と製品図の違い スカート、パンツの表現について学ぶ	講義 演習：ハンガーイラストの作製 課題のフィードバック	スカート、パンツのハンガーイラストを描くことができる	(予習) 自宅にあるスカート、パンツをよく観察する (復習) ハンガーイラストをペンで仕上げる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	ハンガーイラスト シャツ、ジャケットの表現について学ぶ	講義 演習：ハンガーイラストの作製 課題のフィードバック	シャツ、ジャケットのハンガーイラストを描くことができる	(予習) 自宅にあるシャツ、ジャケットをよく観察する (復習) ハンガーイラストをペンで仕上げる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力